

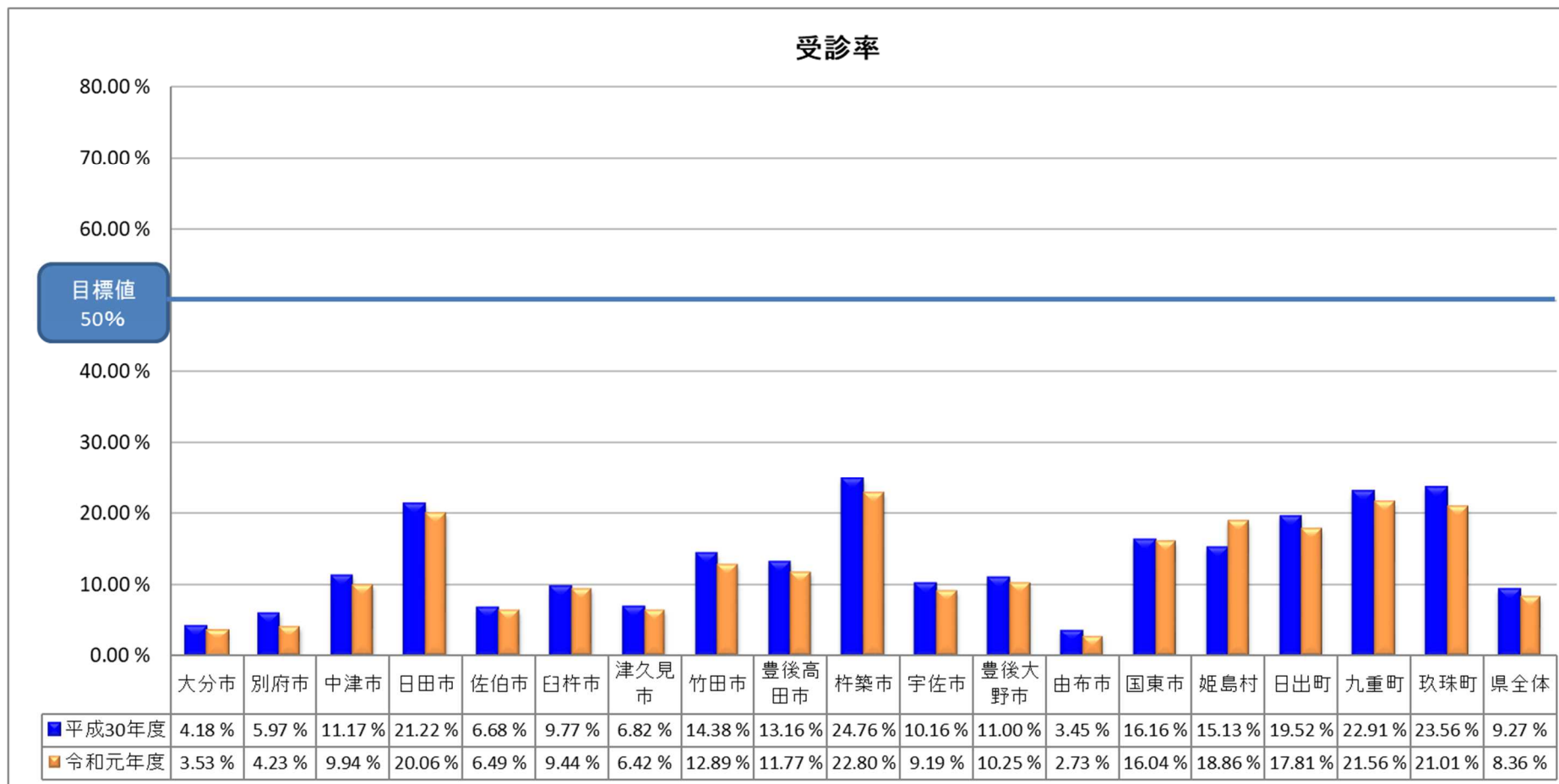
平成30年度、令和元年度 がん検診精度管理指標数値の集計結果

(1) 胃がん検診

①-1 受診率/市町村別集計/住民検診

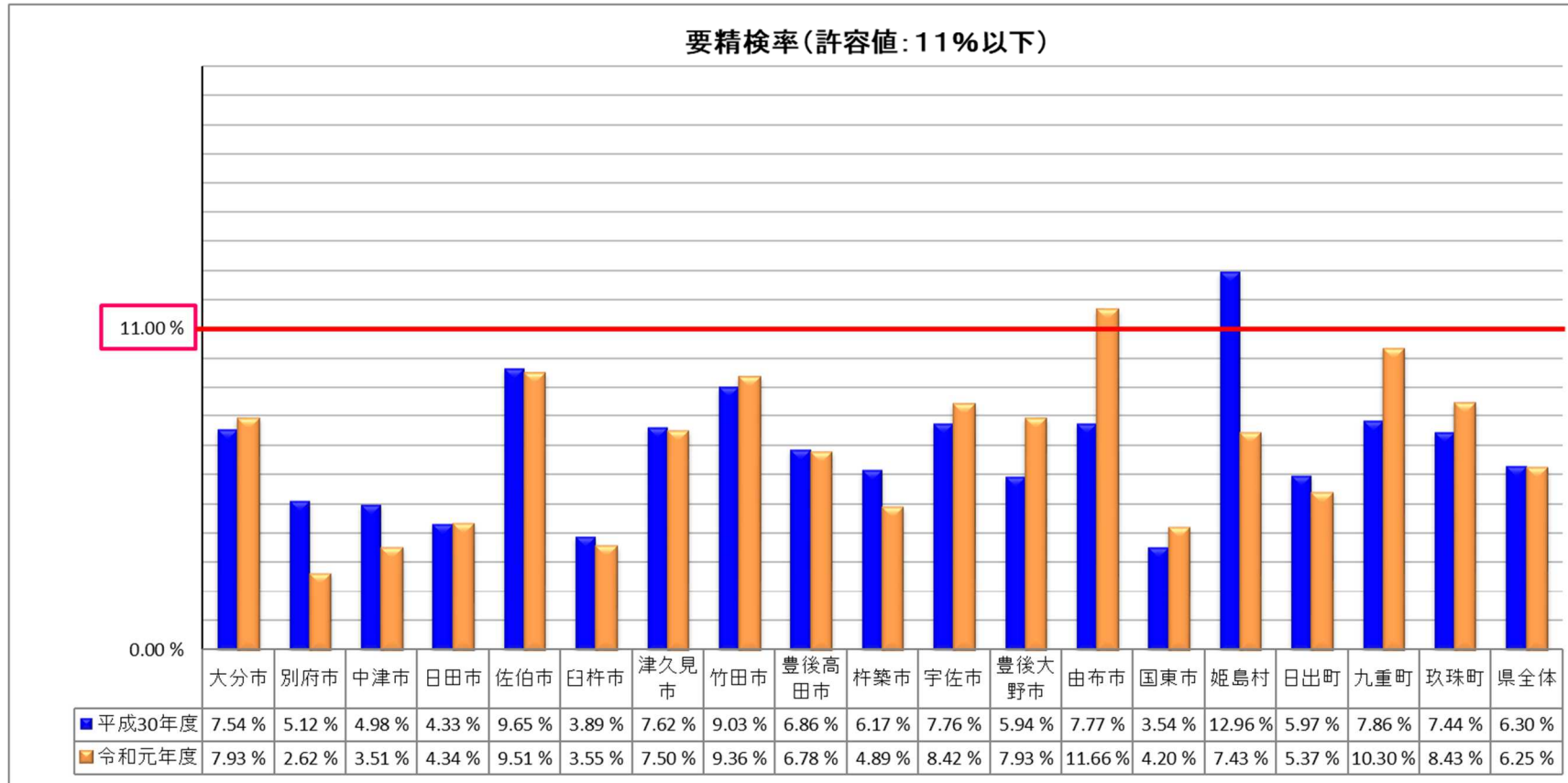
目標値である50%にはいずれの市町村も到達していない。

なお、がん検診受診対象者を多く含む職域の受診者数が含まれないため、実際の数値との乖離が大きい。



①-2 要精検率/市町村別集計/住民検診

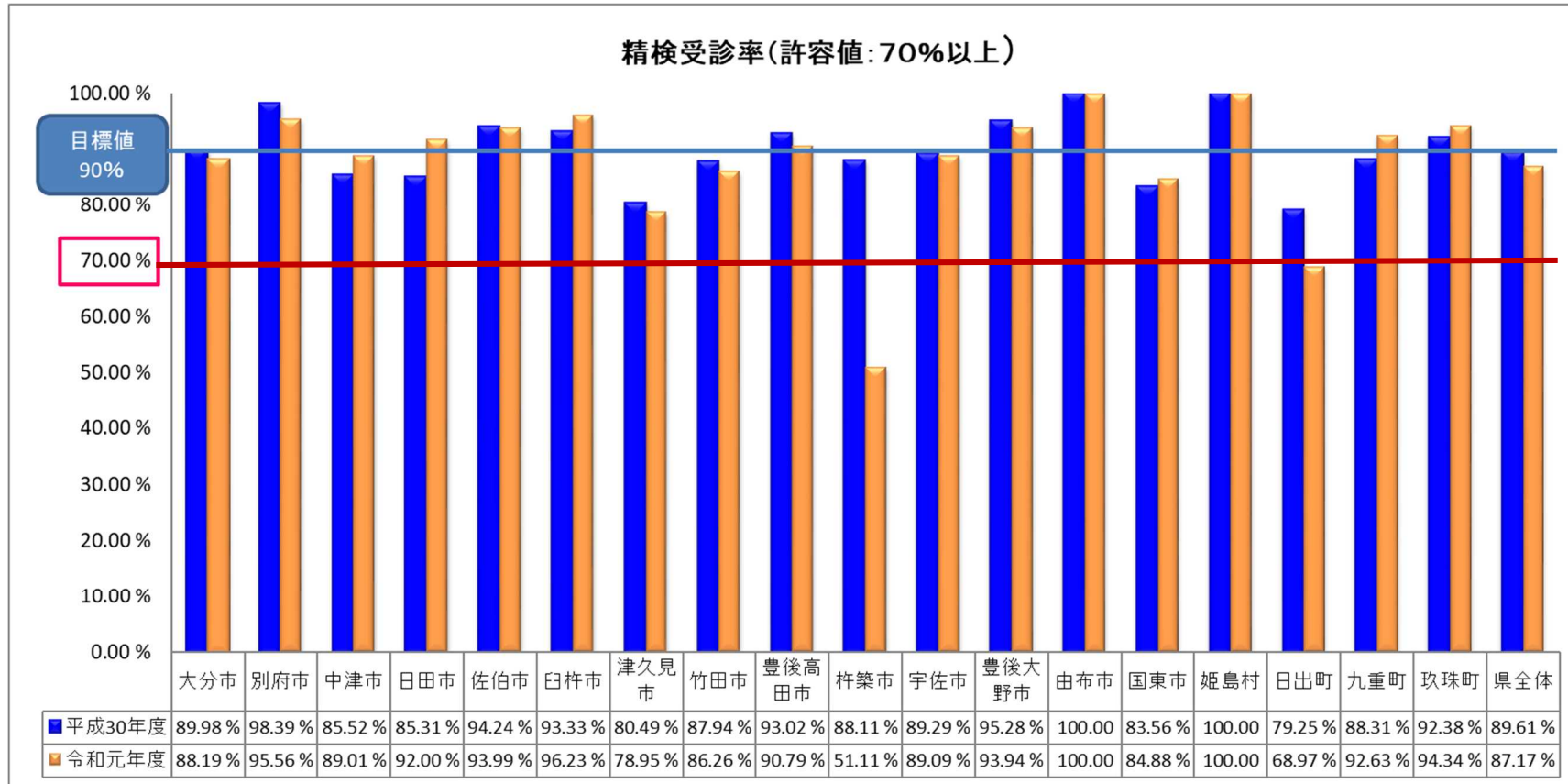
17市町村が許容値である11%以下となっている。県全体でH30:6.30%→R元:6.25%。



①-3 精検受診率/市町村別集計/住民検診

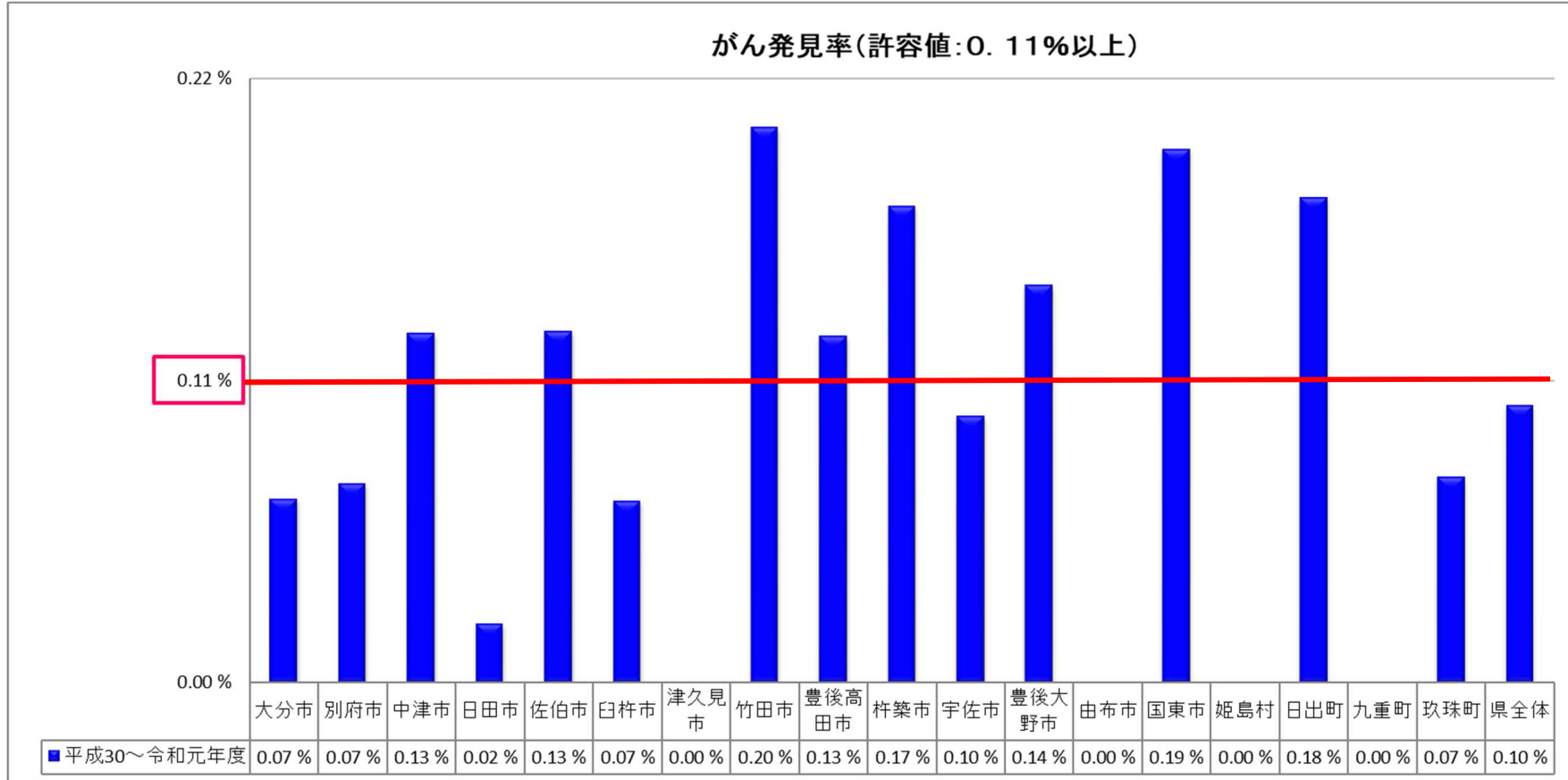
許容値である70%を16市町村で達成している。

そのうち、10市町村で目標値である90%を達成しており、精検受診状況は良好。県全体ではH30:89.61%→R元:87.17%と微減。



①-4 がん発見率/市町村別集計/住民検診

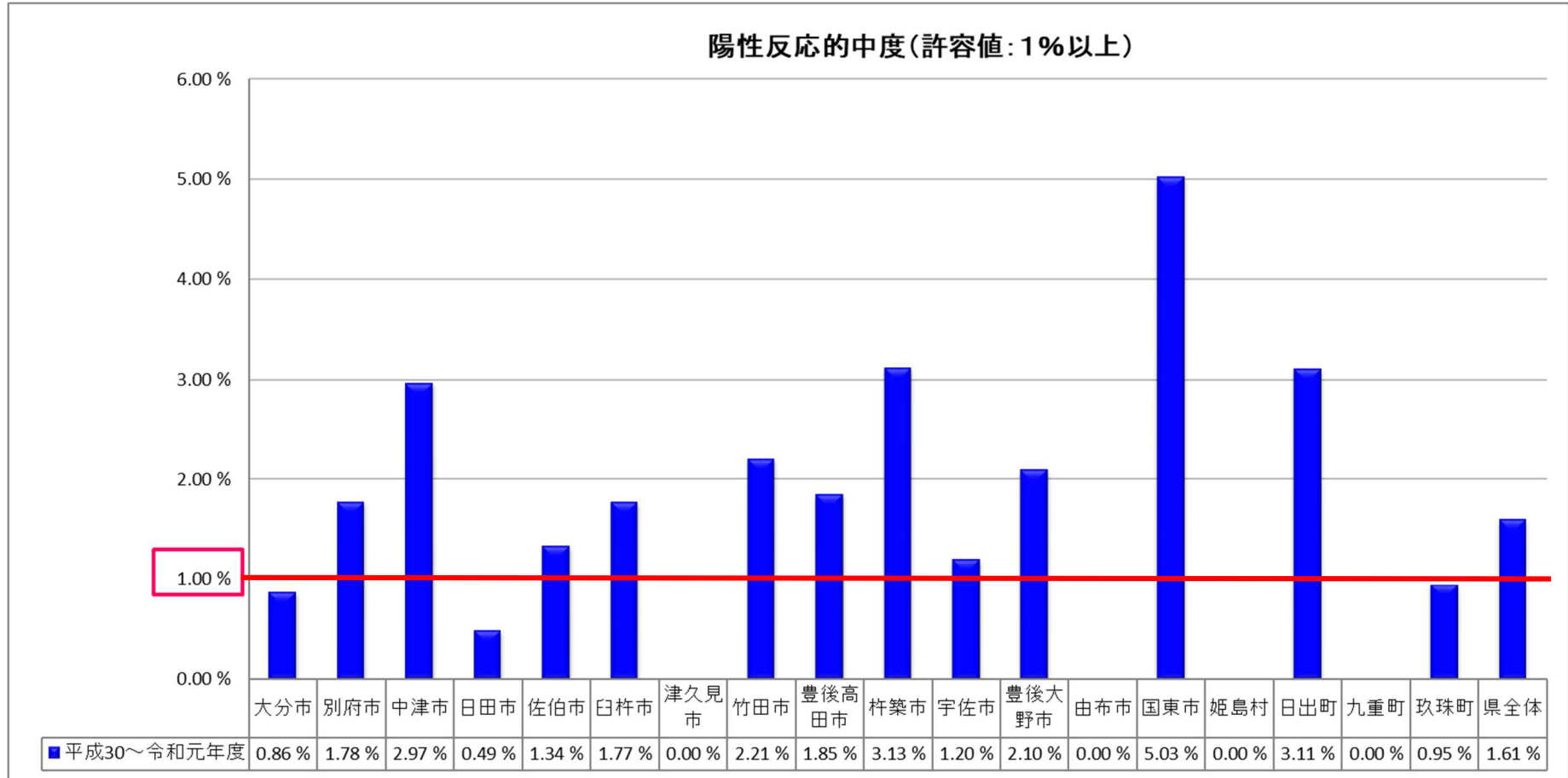
受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいため、平成30年度及び令和元年度の平均による数値で示している。
 8市町が許容値である0.11%以上となっている。県全体では0.10%。



①-5 陽性反応適中度/市町村別集計/住民検診

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいいため、平成30年度及び令和元年度の平均による数値で示している。

11市町が許容値である1.0%以上となっている。県全体では1.61%であり、市町村のばらつきが大きい。

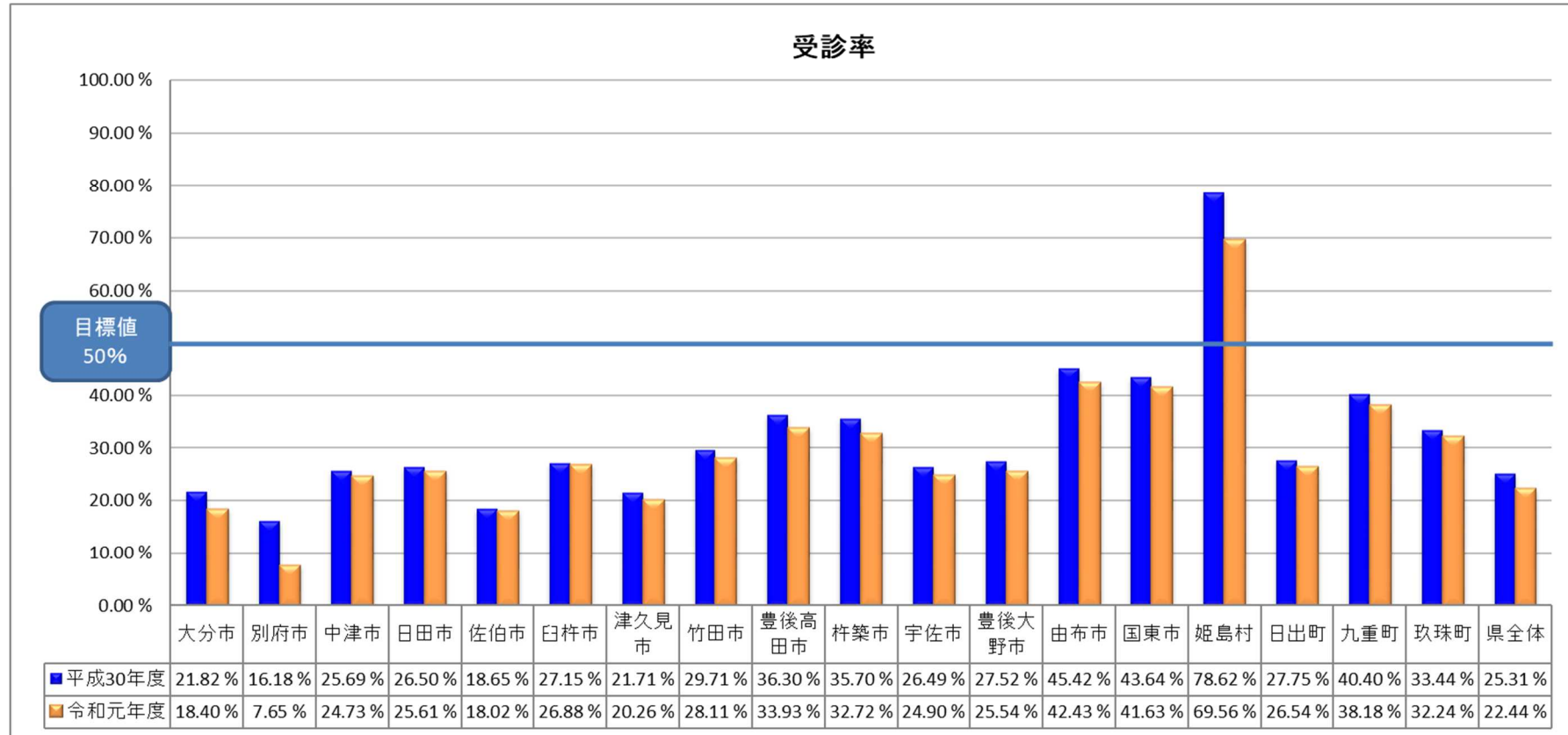


(2) 肺がん検診

①-1 受診率/市町村別集計/住民検診

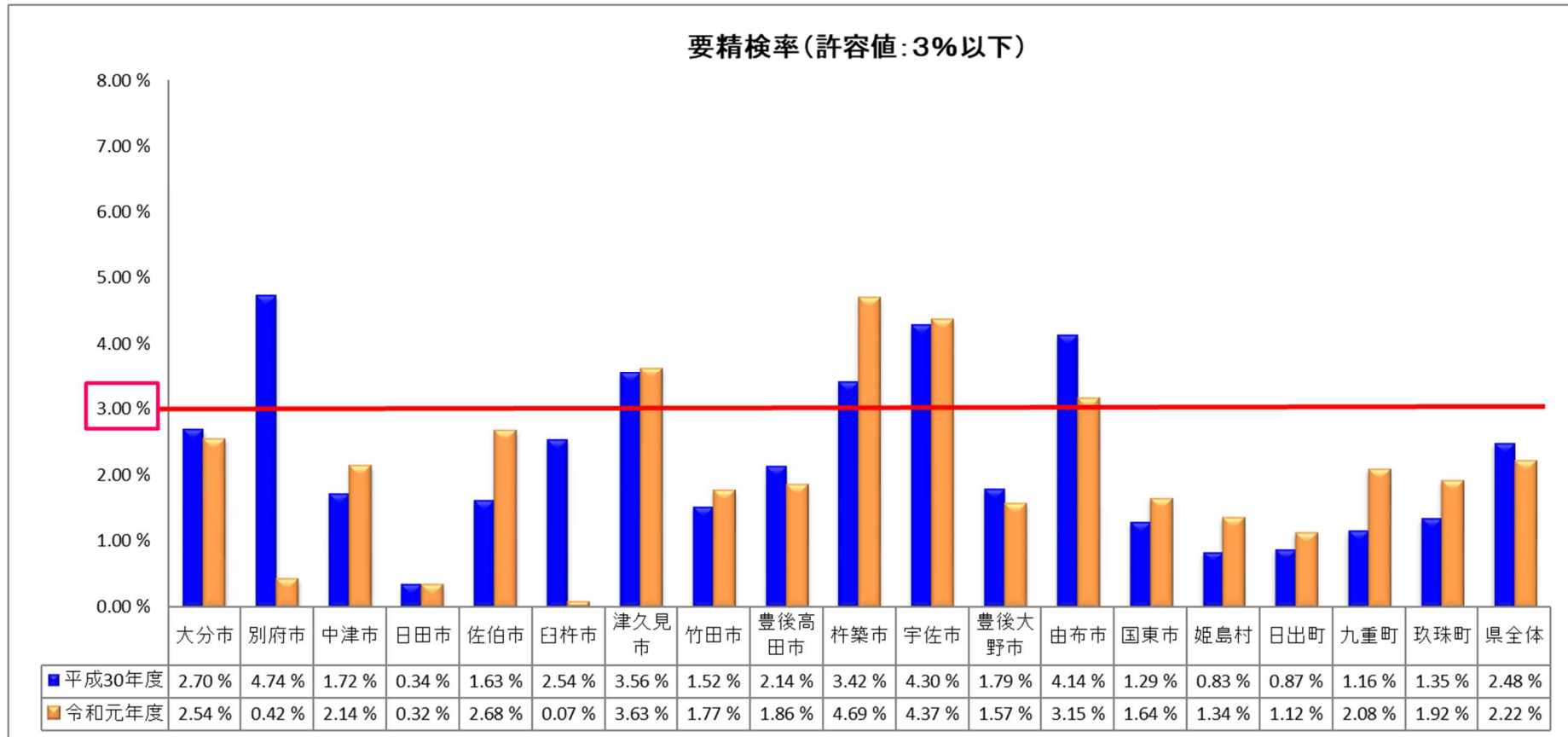
姫島村のみ、目標値である50%を達成している。県全体ではH30：25.31%→R元：22.44%と低下。

なお、がん検診受診対象者を多く含む職域の受診者数が含まれないため、実際の数値との乖離が大きい。



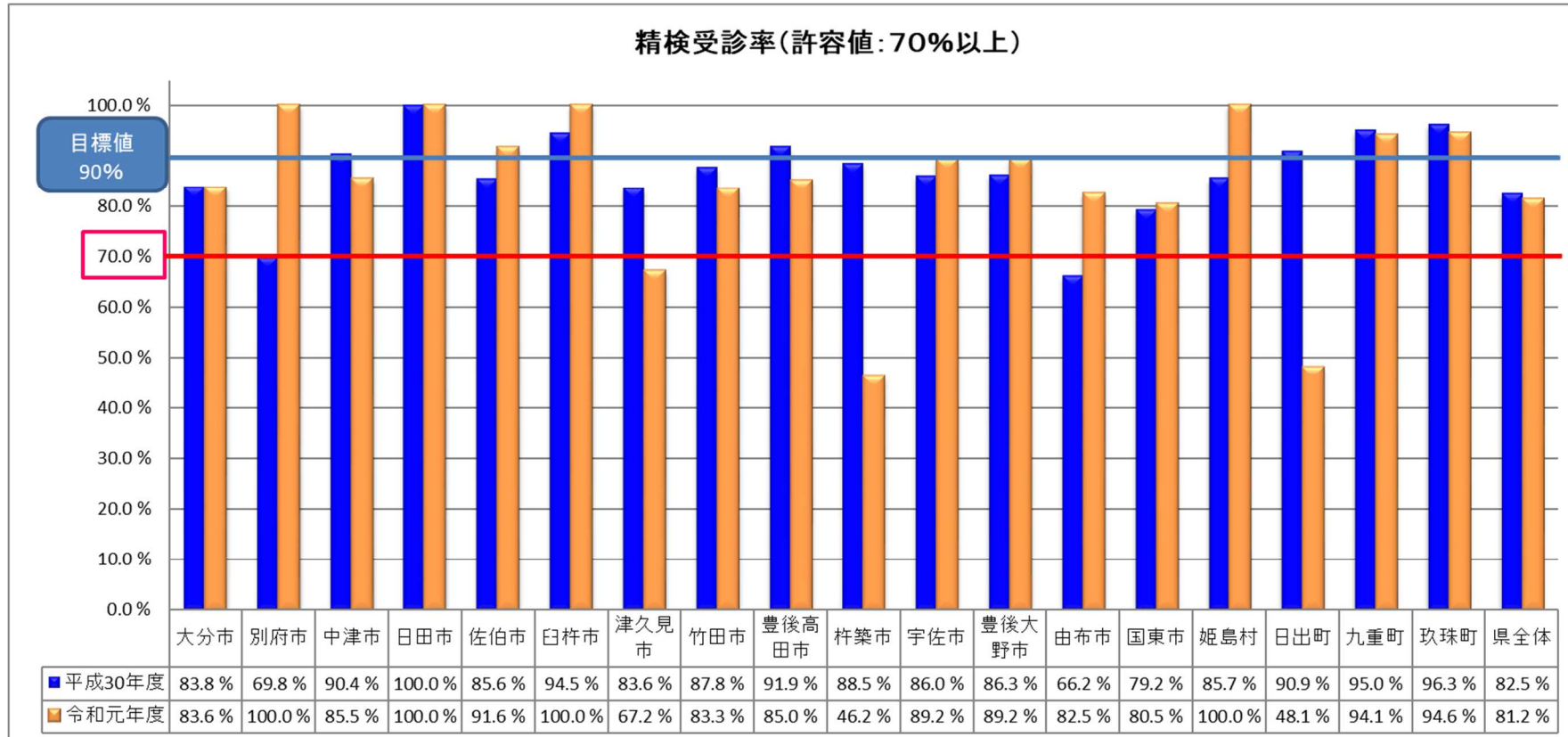
①-2 要精検率/市町村別集計/住民検診

14市町村が許容値である3.0%以下となっているものの、続けて3%より大きい値の市がある。



①-3 精検受診率/市町村別集計/住民検診

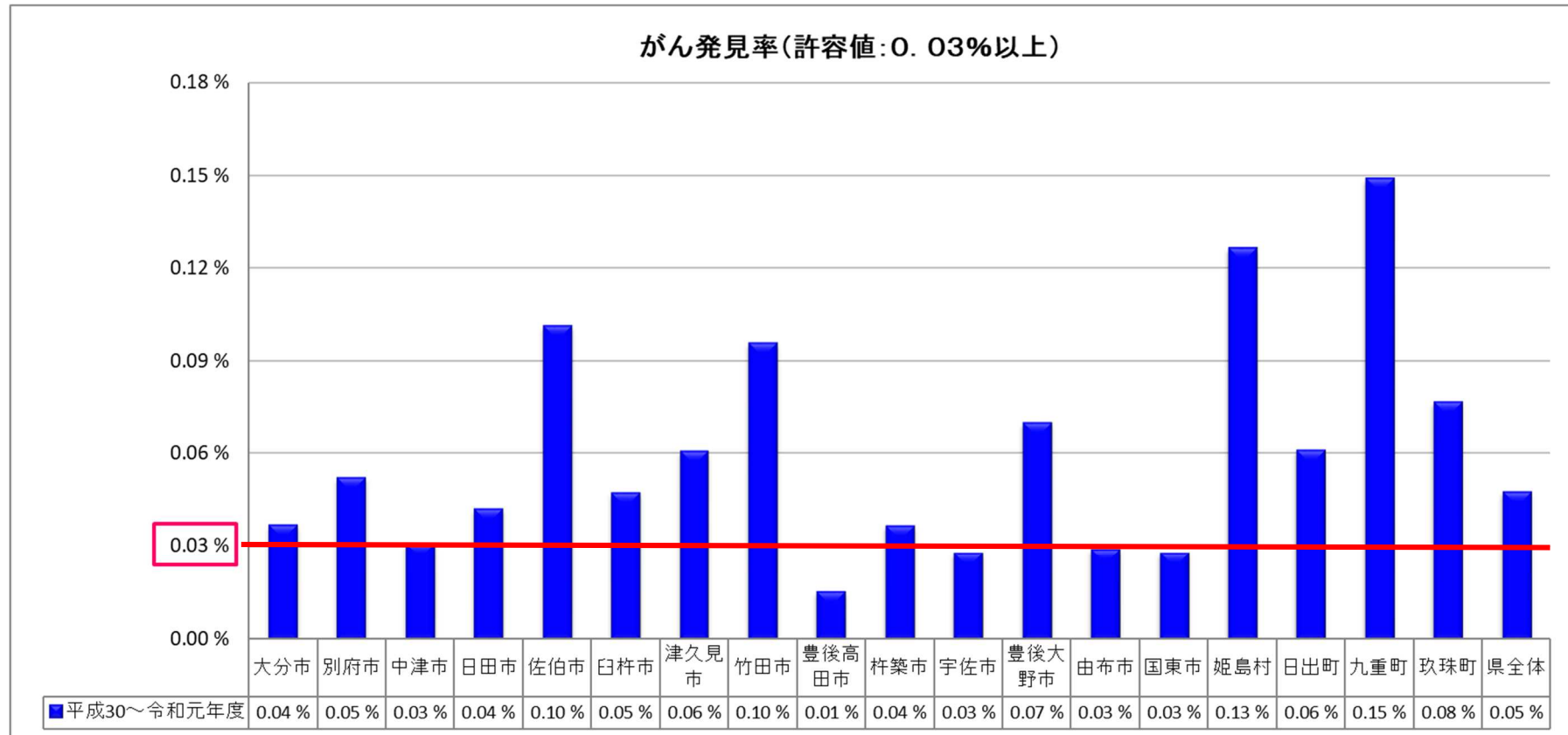
許容値である70%を15市町村が達成している。そのうち、7市町村で目標値である90%を達成している。
 県全体でも81.2%を達成している。



①-4 がん発見率/市町村別集計/住民検診

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいため、平成30年度及び令和元年度の平均による数値で示している。

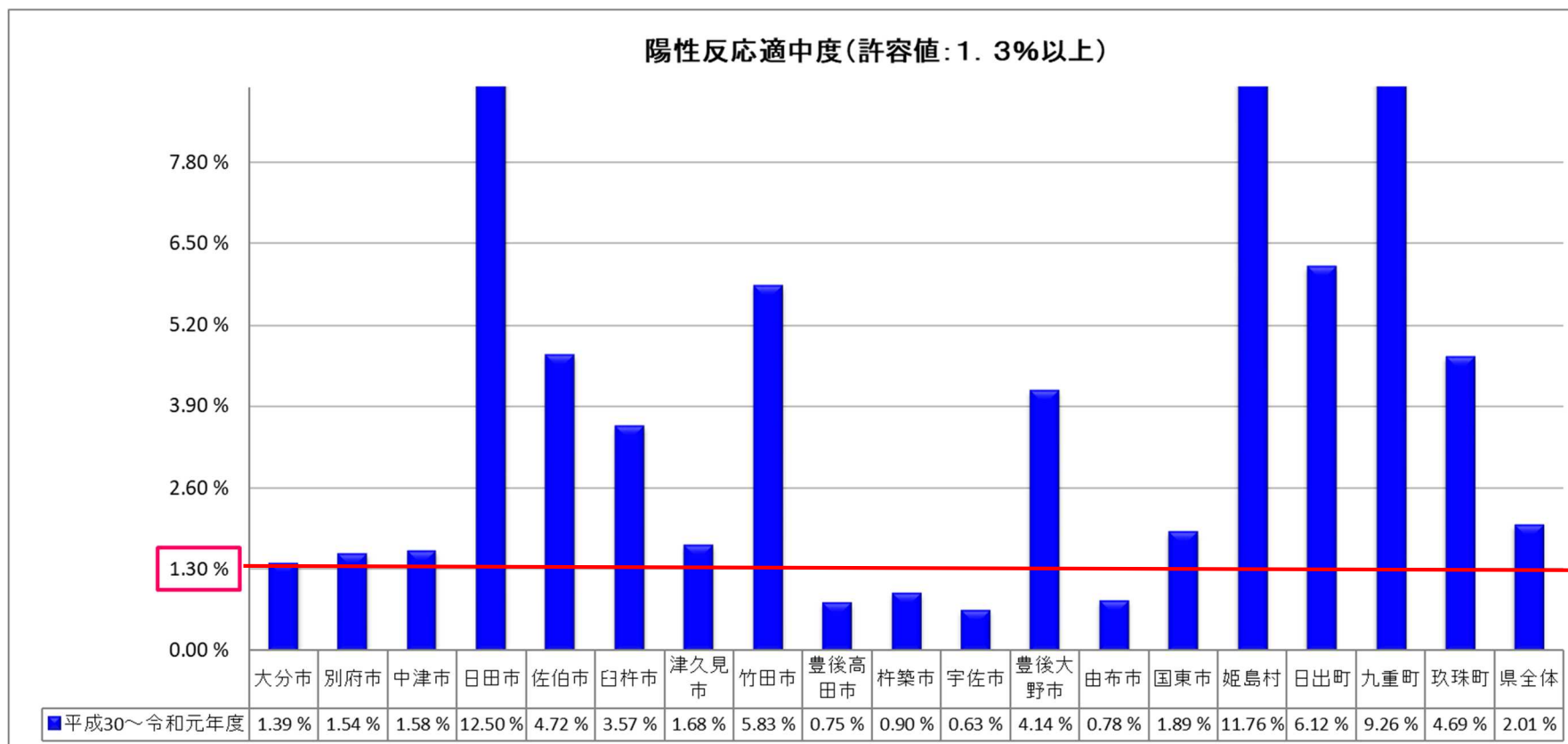
10市町村が許容値である0.03%以上（四捨五入の関係で、「0.03%未満」でも「0.03%」とグラフ表示されている市町村あり）となっている。県全体では0.05%と許容値である0.03%以上であるが、市町村によるばらつきがある。



①-5 陽性反応適中度/市町村別集計/住民検診

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいため、平成30年度及び令和元年度の平均による数値で示している。14市町村が許容値である1.3%以上となっている。

県全体でも2.01%と許容値の1.30%以上であるが、市町村のばらつきが大きい。

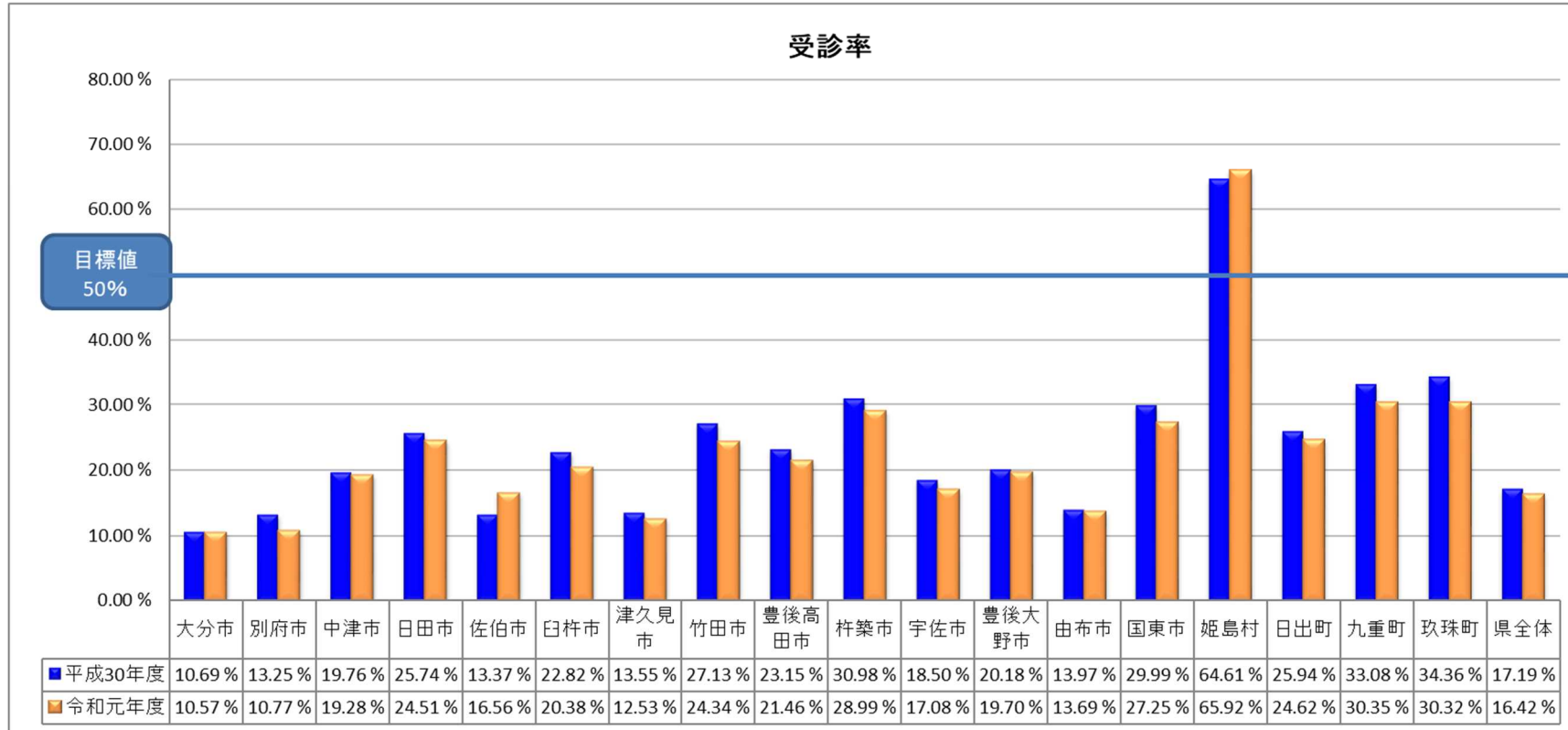


(3) 大腸がん検診

①-1 受診率/市町村別集計/住民検診

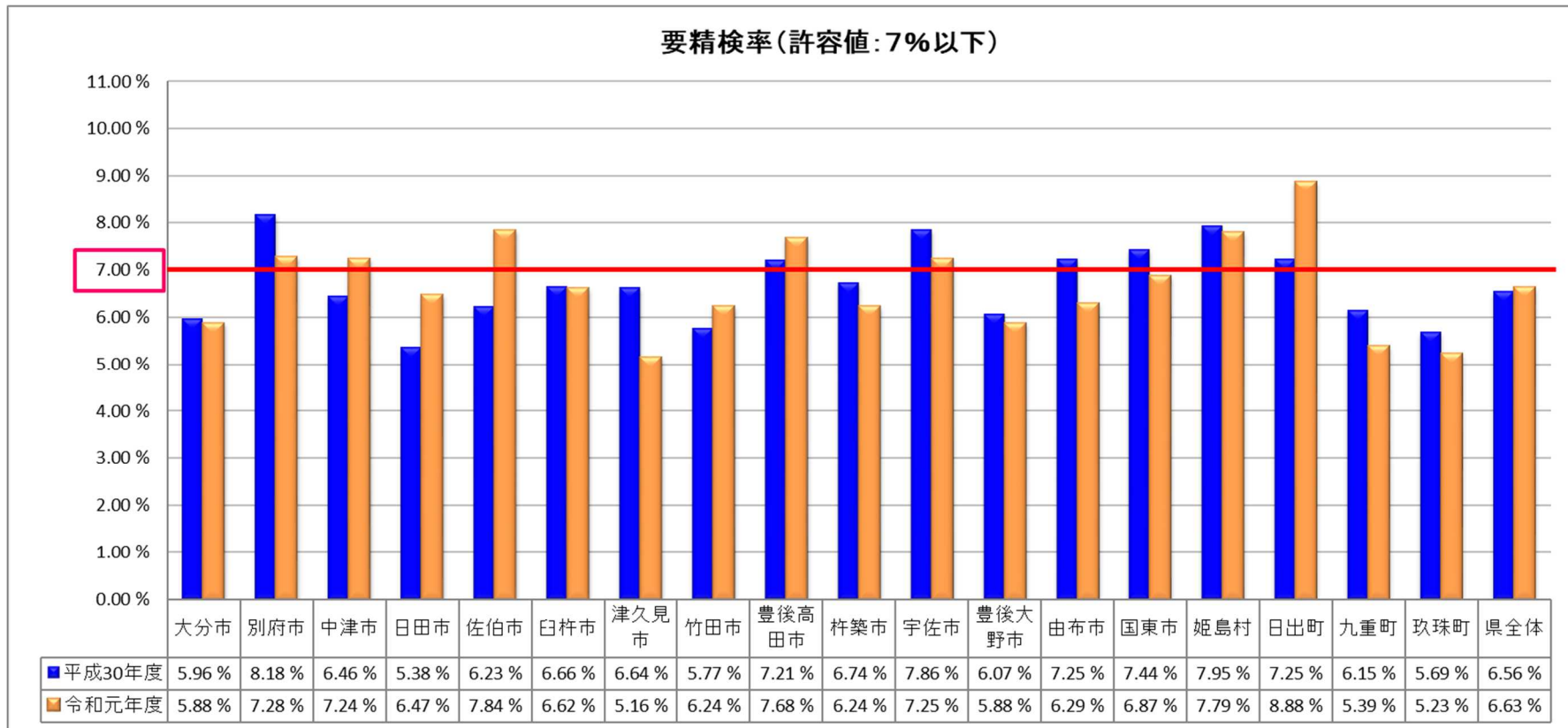
姫島村のみ、目標値である50%を達成している。県全体ではH30:17.19%→R元:16.42%とやや減。

なお、がん検診受診対象者を多く含む職域の受診者数が含まれないため、実際の数値との乖離が大きい。



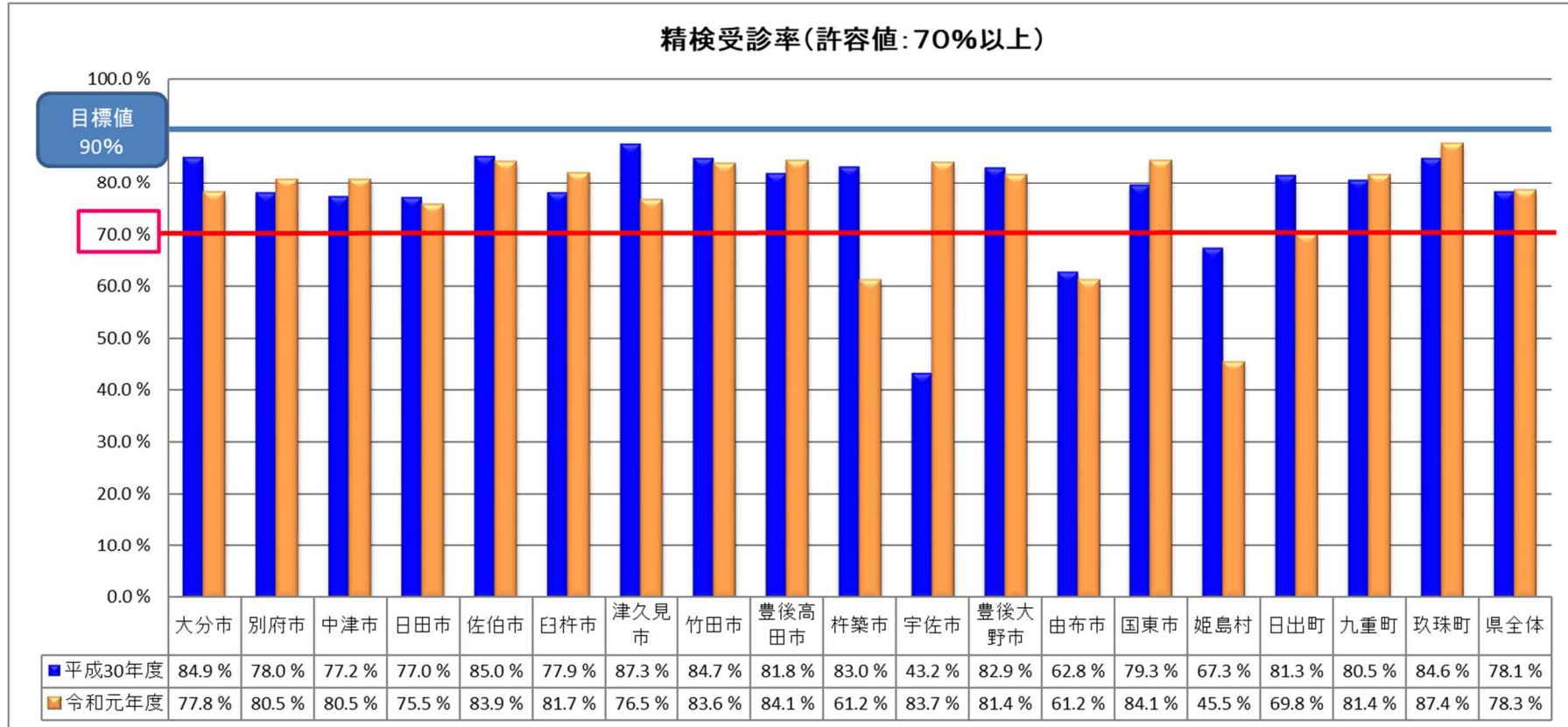
①-2 要精検率/市町村別集計/住民検診

11市町が許容値である7.0%以下となっている。県全体でも6.63%で許容値7.00%には達していない。



①-3 精検受診率/市町村別集計/住民検診

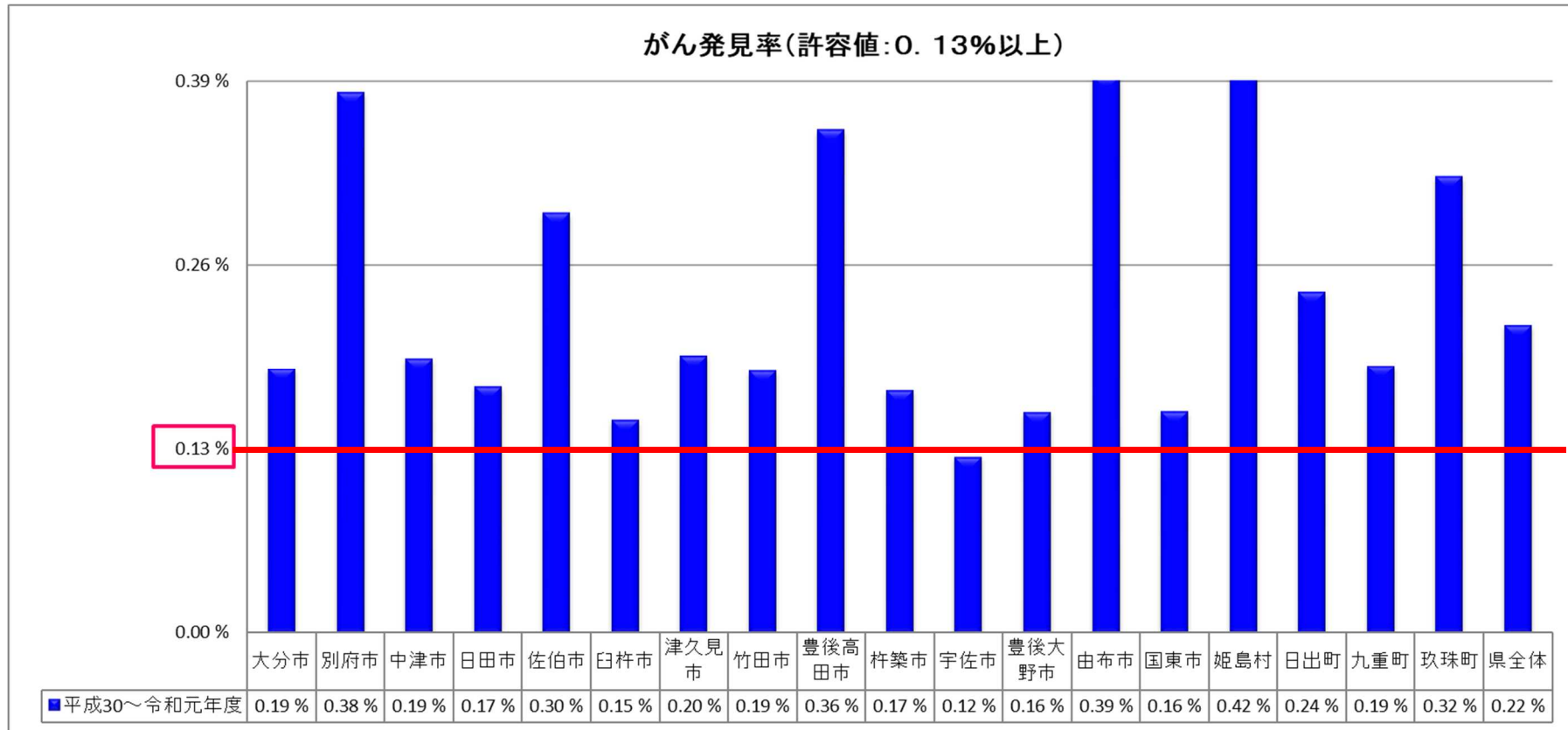
14市町が許容値である70%を達成している。県全体でも78.3%と許容値以上となっている。



①-4 がん発見率/市町村別集計/住民検診

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいいため、平成30年度及び令和元年度の平均による数値で示している。

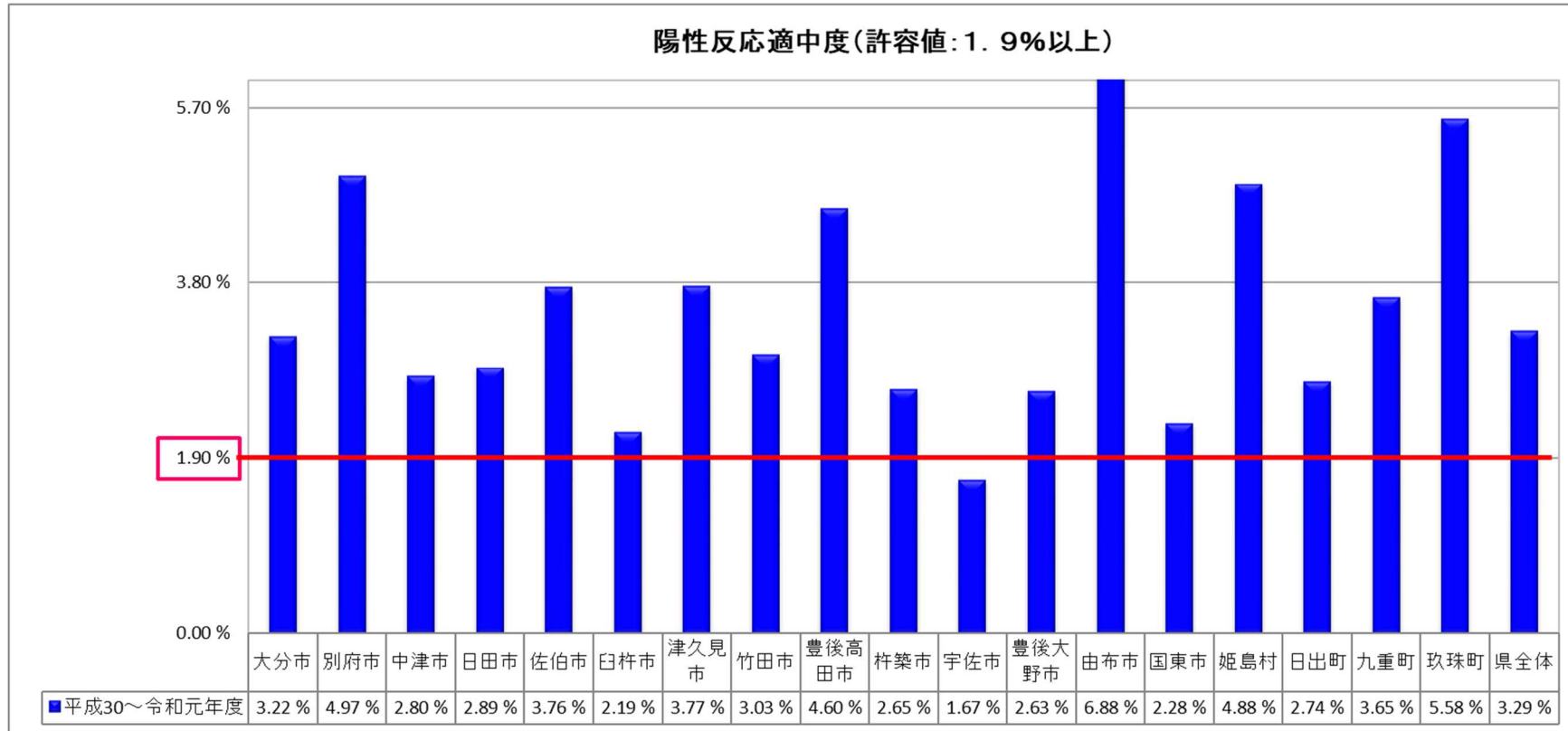
17市町村が許容値である0.13%以上となっている。



①-5 陽性反応適中度/市町村別集計/住民検診

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいいため、平成30年度及び令和元年度の平均による数値で示している。

17市町村が許容値である1.9%以上となっている。

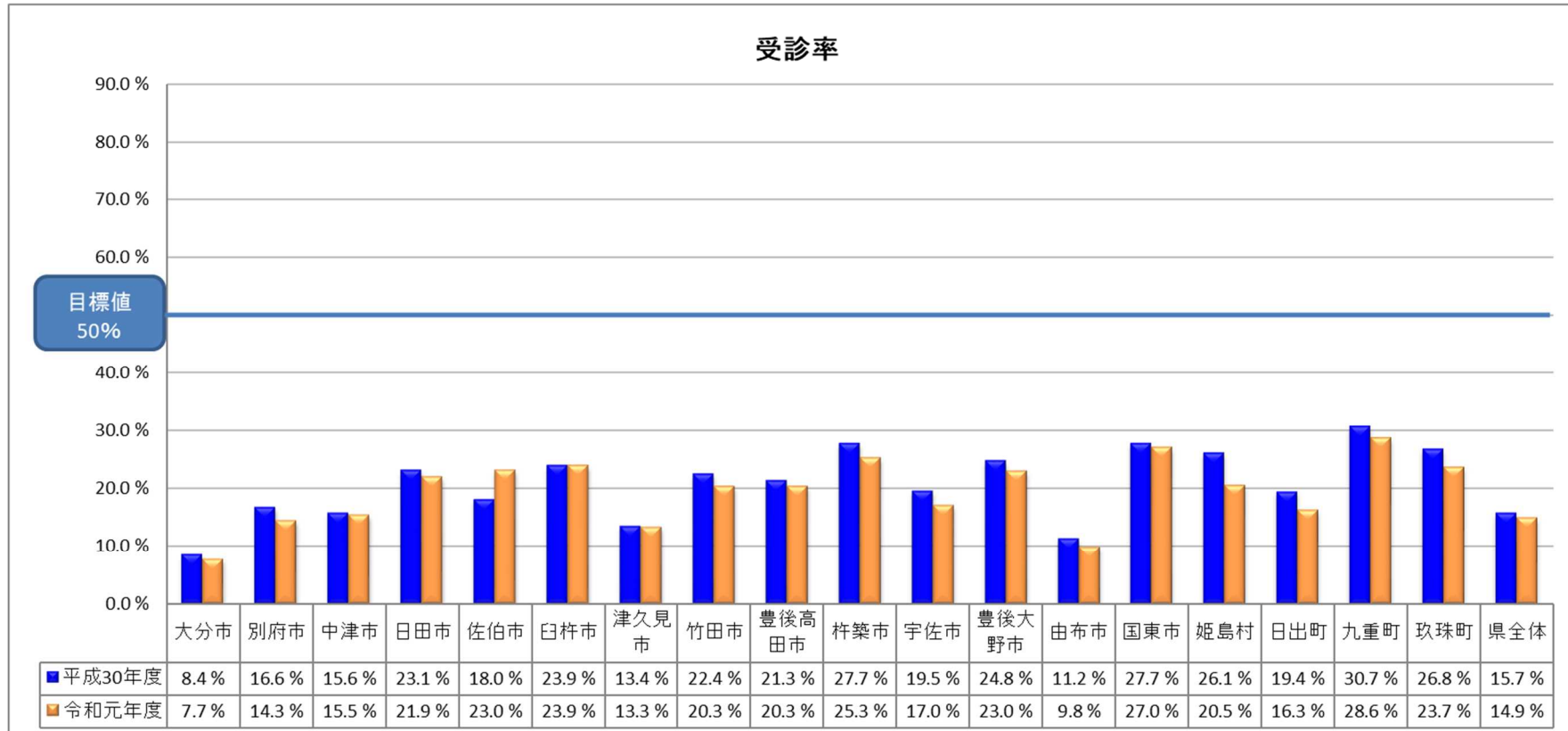


(4) 子宮頸がん検診

①-1 受診率/市町村別集計/住民検診

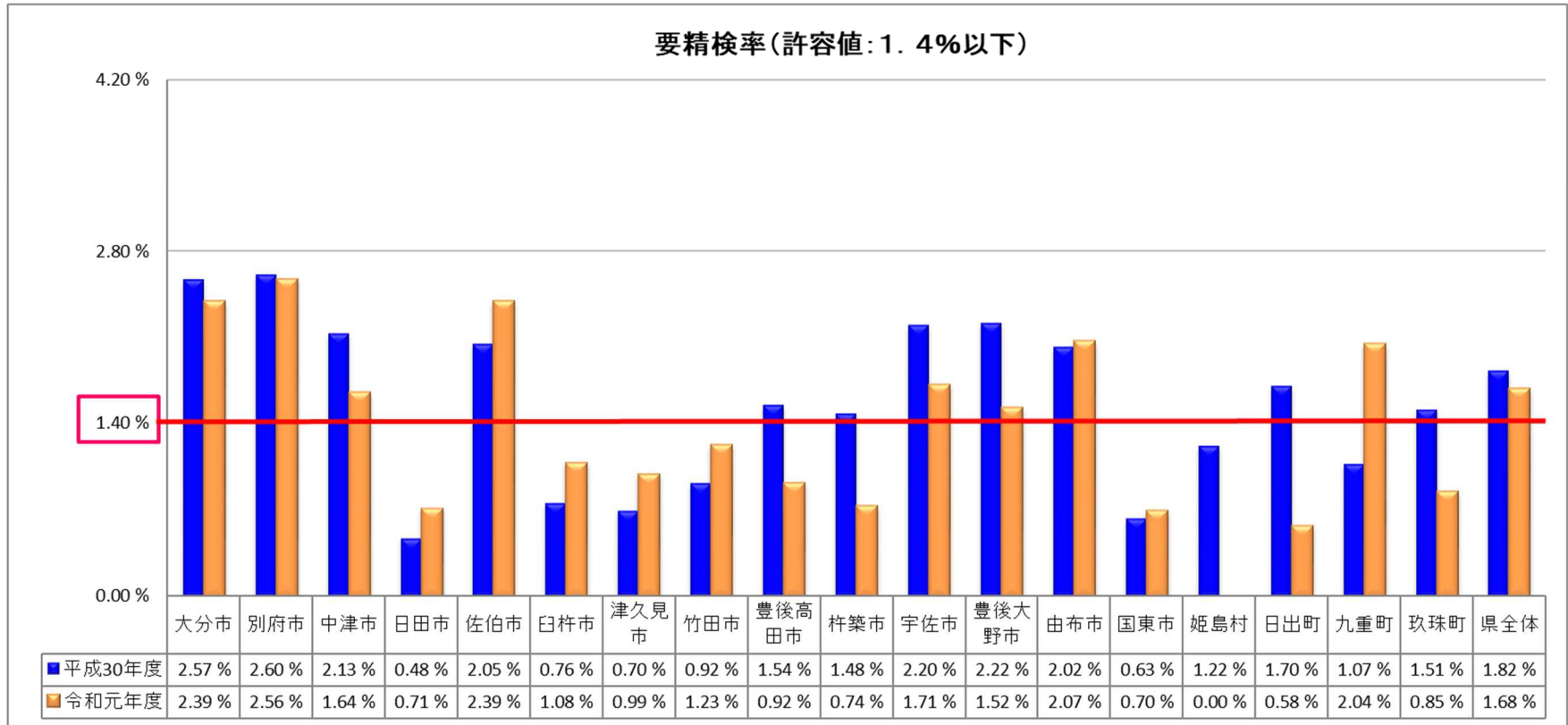
目標値である50%にはいずれの市町村も到達していない。

なお、がん検診受診対象者を多く含む職域の受診者数が含まれないため、実際の数値との乖離が大きい。



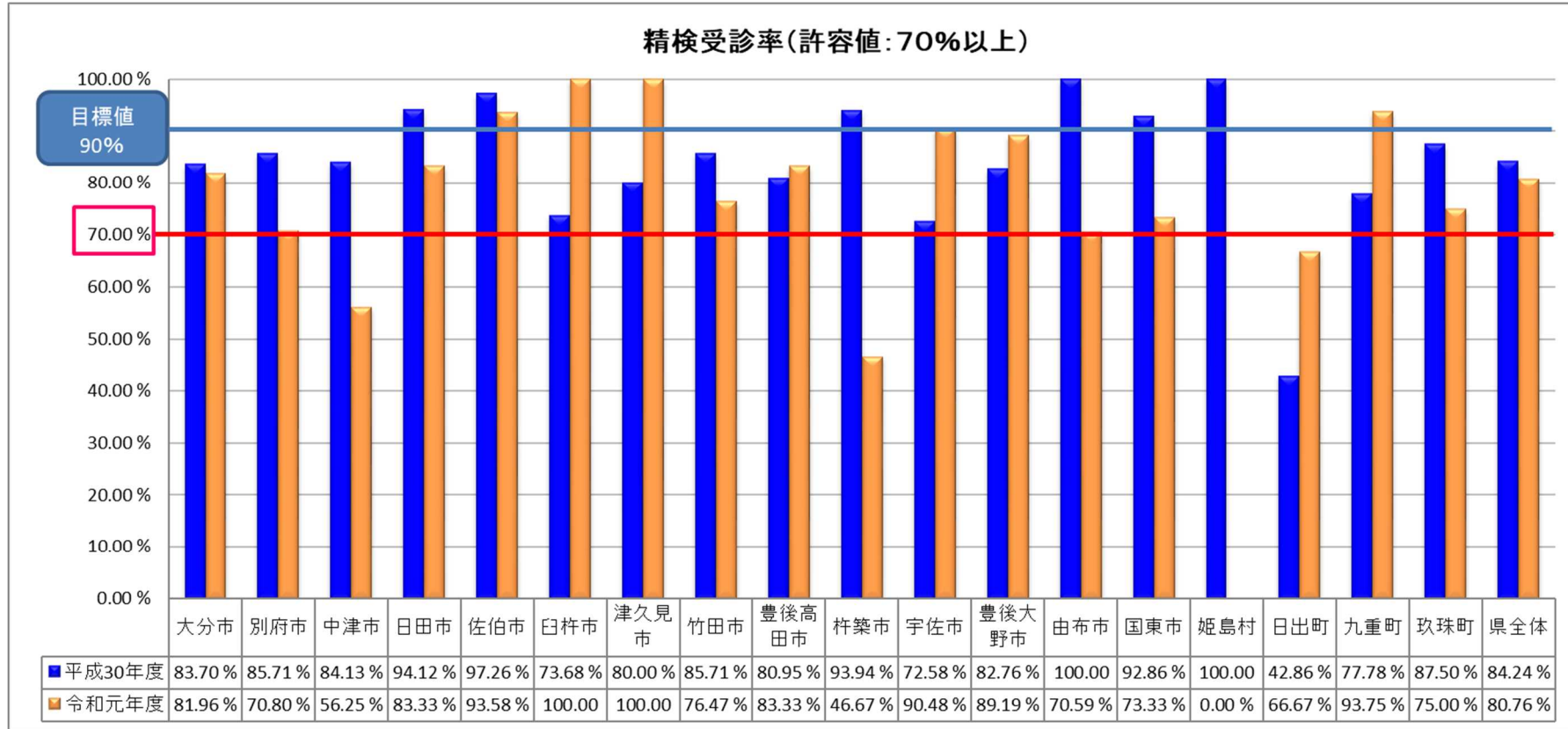
①-2 要精検率/市町村別集計/住民検診

10市町村が許容値である1.4%以下となっている。市町村間のばらつきが大きい。



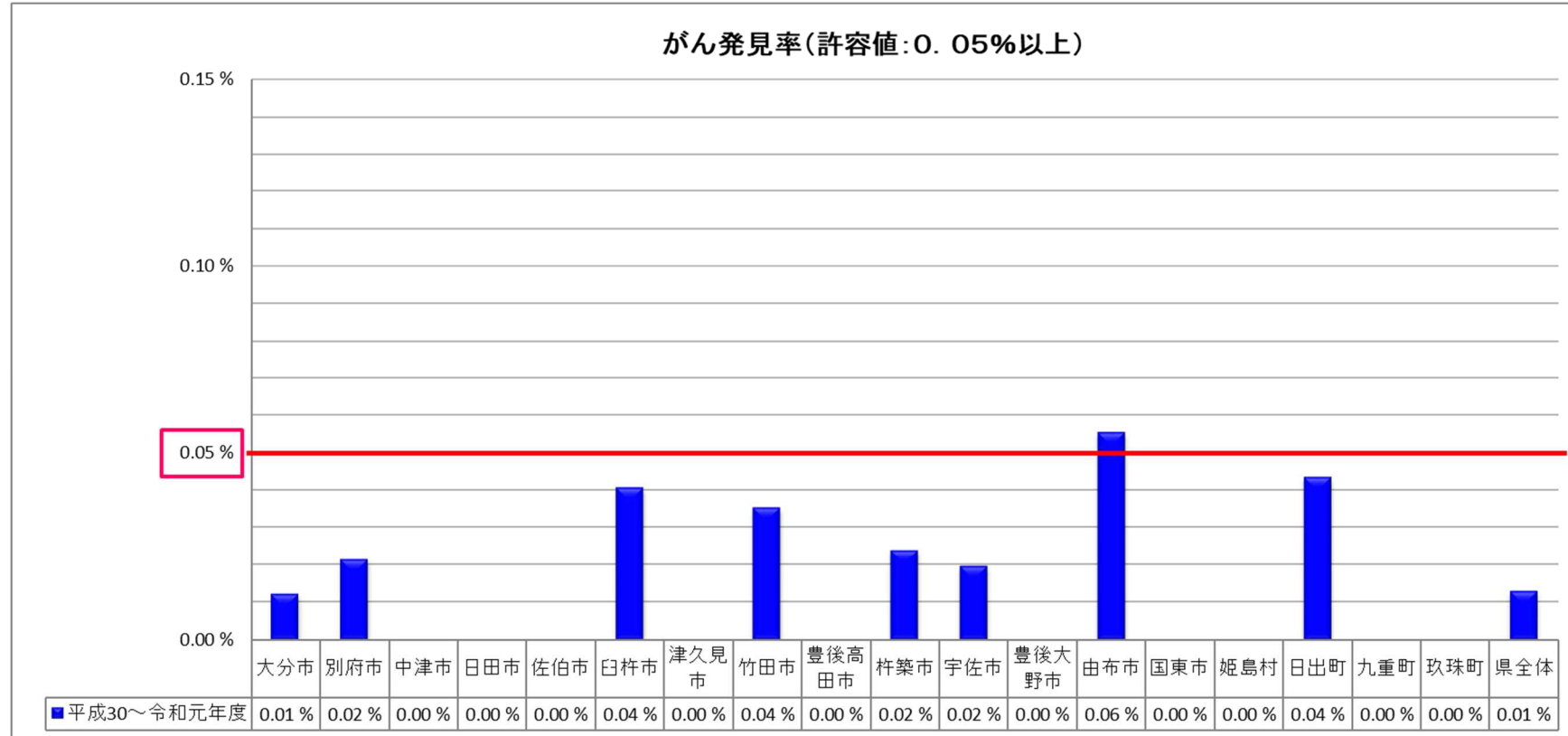
①-3 精検受診率/市町村別集計/住民検診

許容値である70%を14市町で達成している。そのうち、5市町で目標値である90%を達成している。
 県全体でも80.76%と許容値以上となっている。



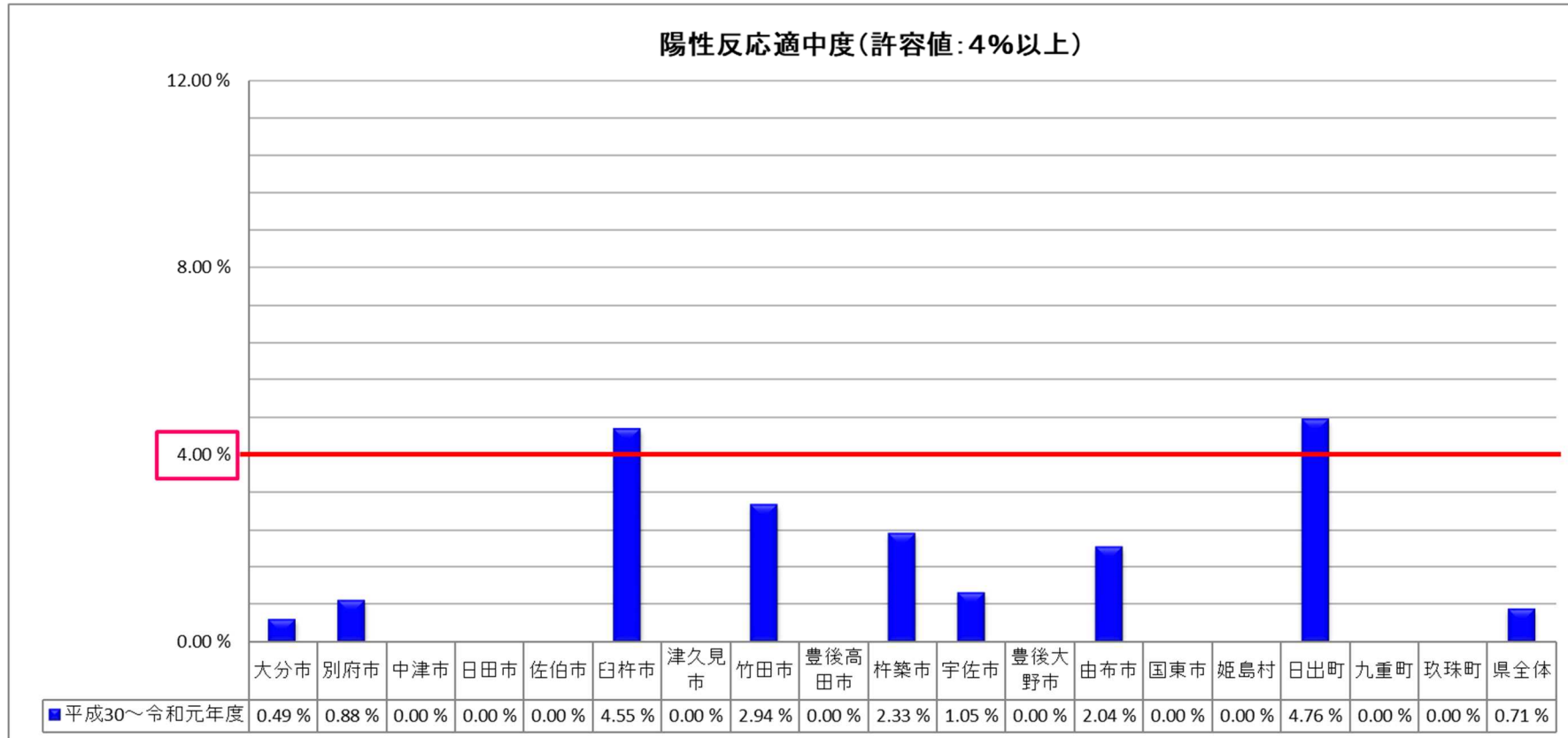
①-4 がん発見率/市町村別集計/住民検診

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいいため、平成30年度及び令和元年度の平均による数値で示している。
許容値である0.05%以上となっているのは、由布市のみ。



①-5 陽性反応適中度/市町村別集計/住民検診

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいいため、平成30年度及び令和元年度の平均による数値で示している。
許容値である4.0%以上となっているのは2市町のみ。県全体では0.71%。

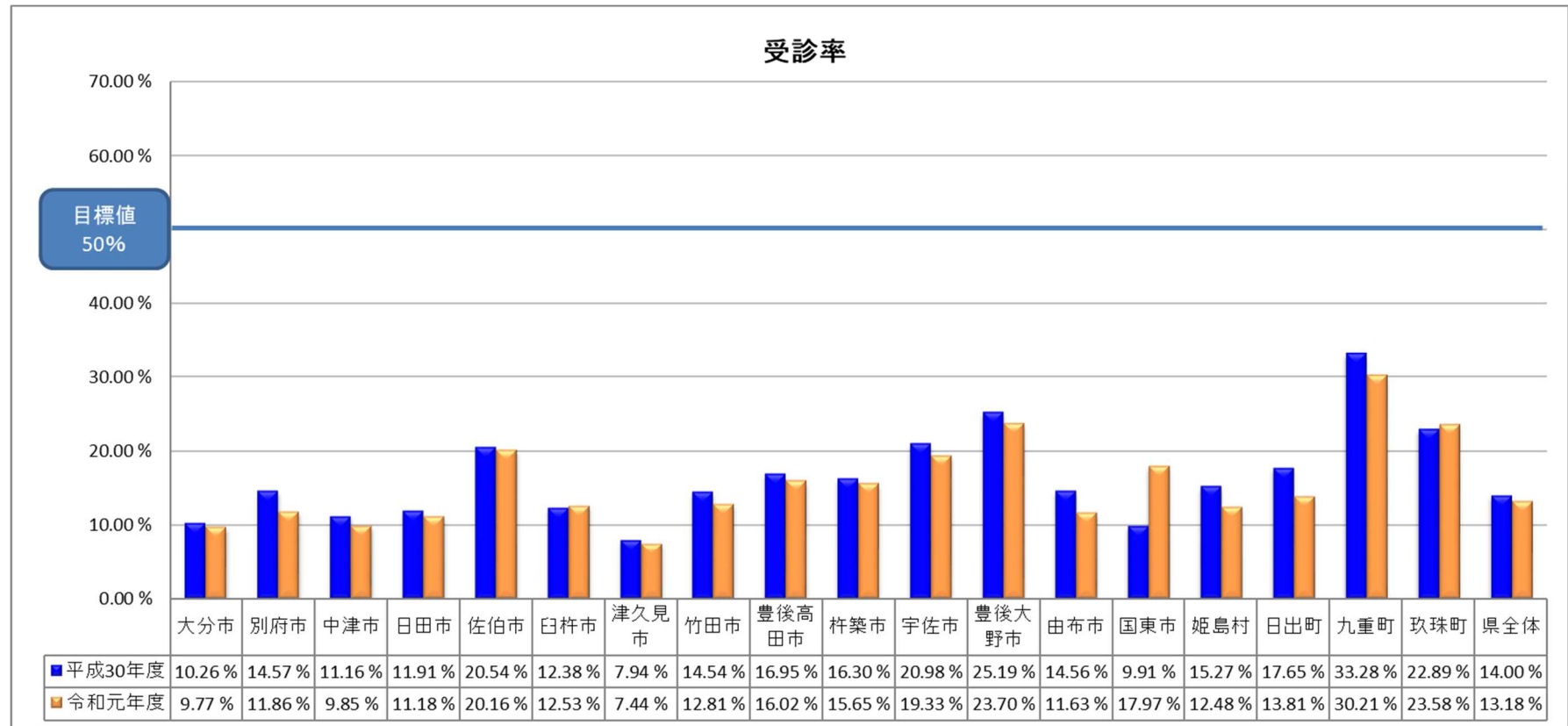


(5) 乳がん検診

①-1 受診率/市町村別集計/住民検診

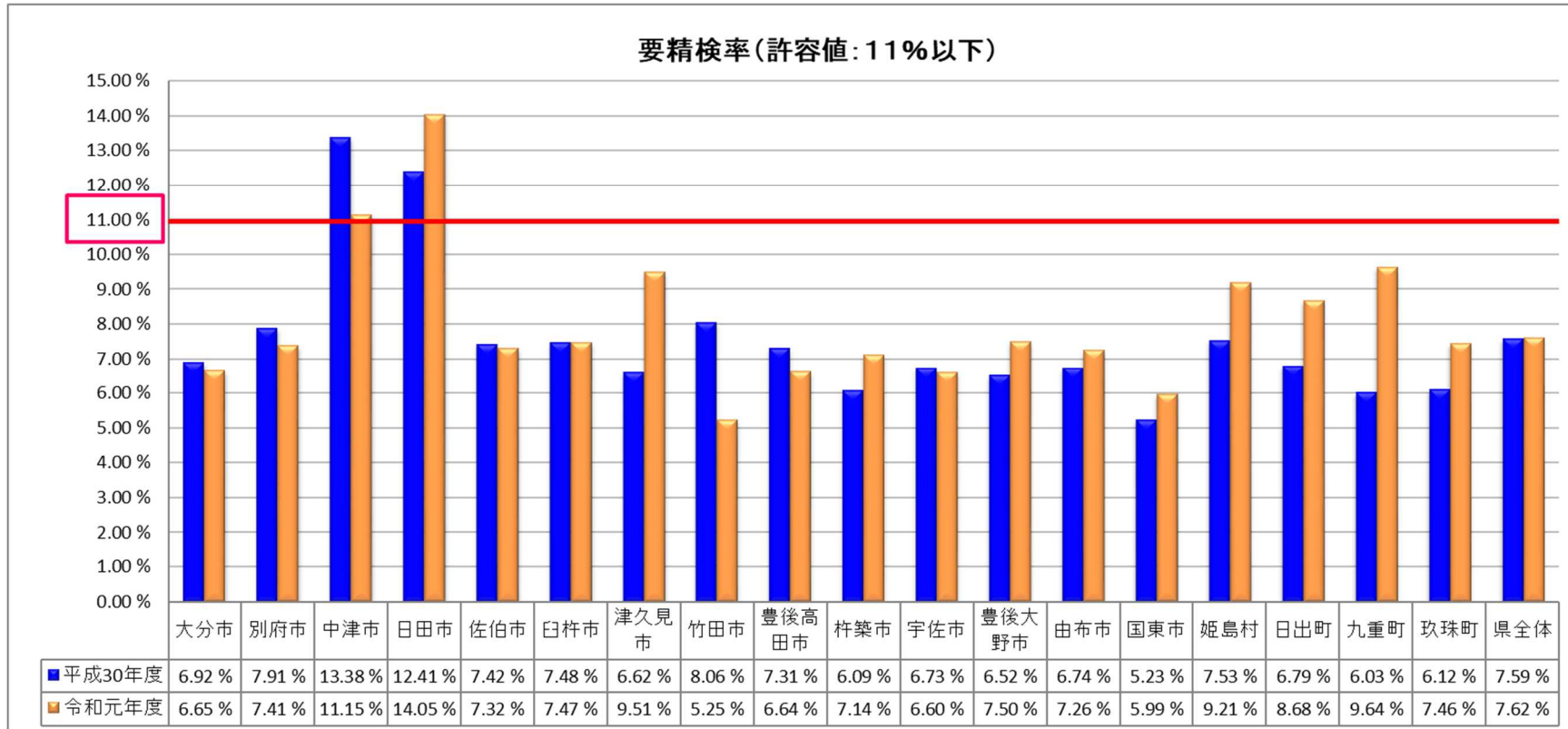
目標値である50%にはいずれの市町村も到達していない。

なお、がん検診受診対象者を多く含む職域の受診者数が含まれないため、実際の数値との乖離が大きい。



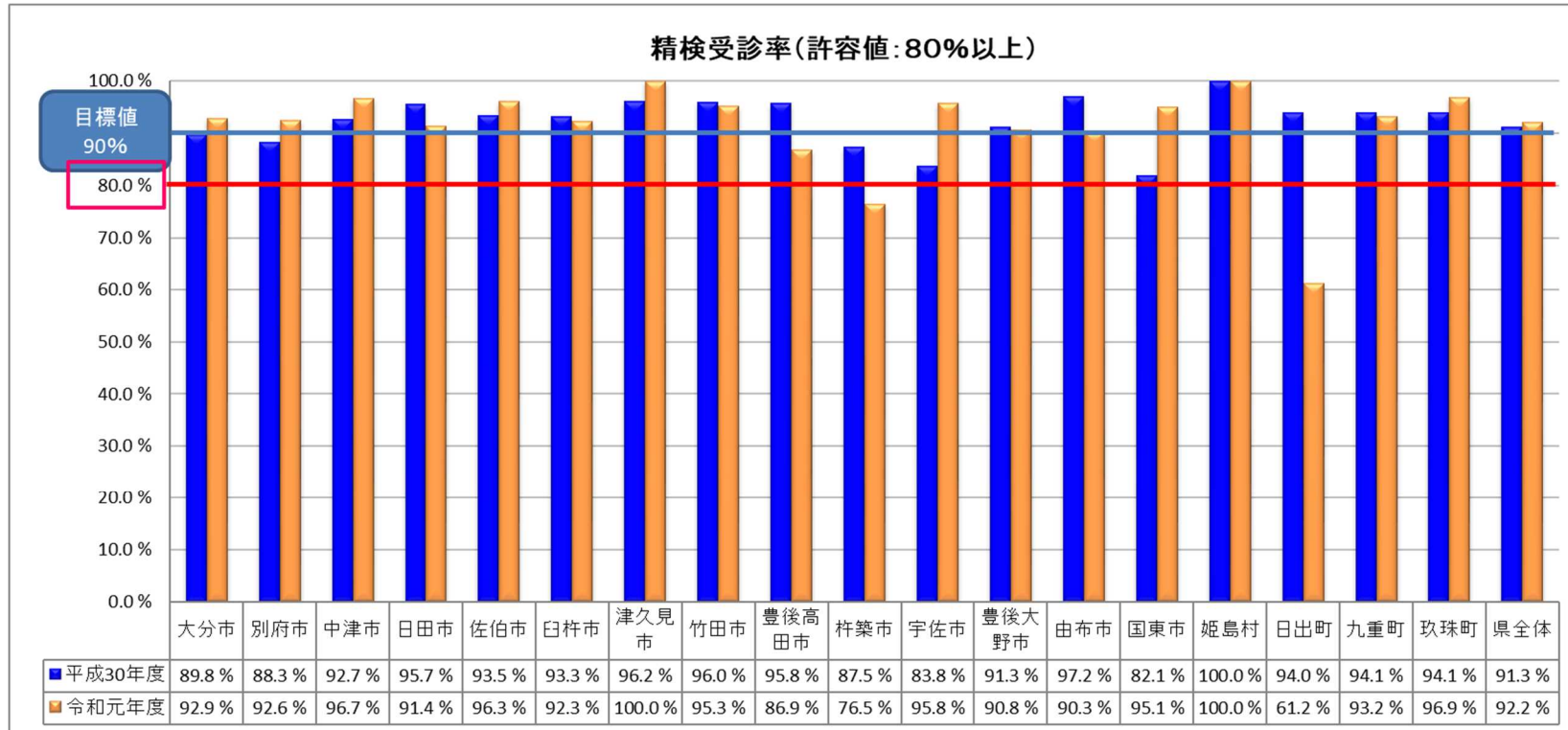
①-2 要精検率/市町村別集計/住民検診

16市町村が許容値である11%以下となっている。県全体では7.62%。2市では、前回に引き続き高い値であった。



①-3 精検受診率/市町村別集計/住民検診

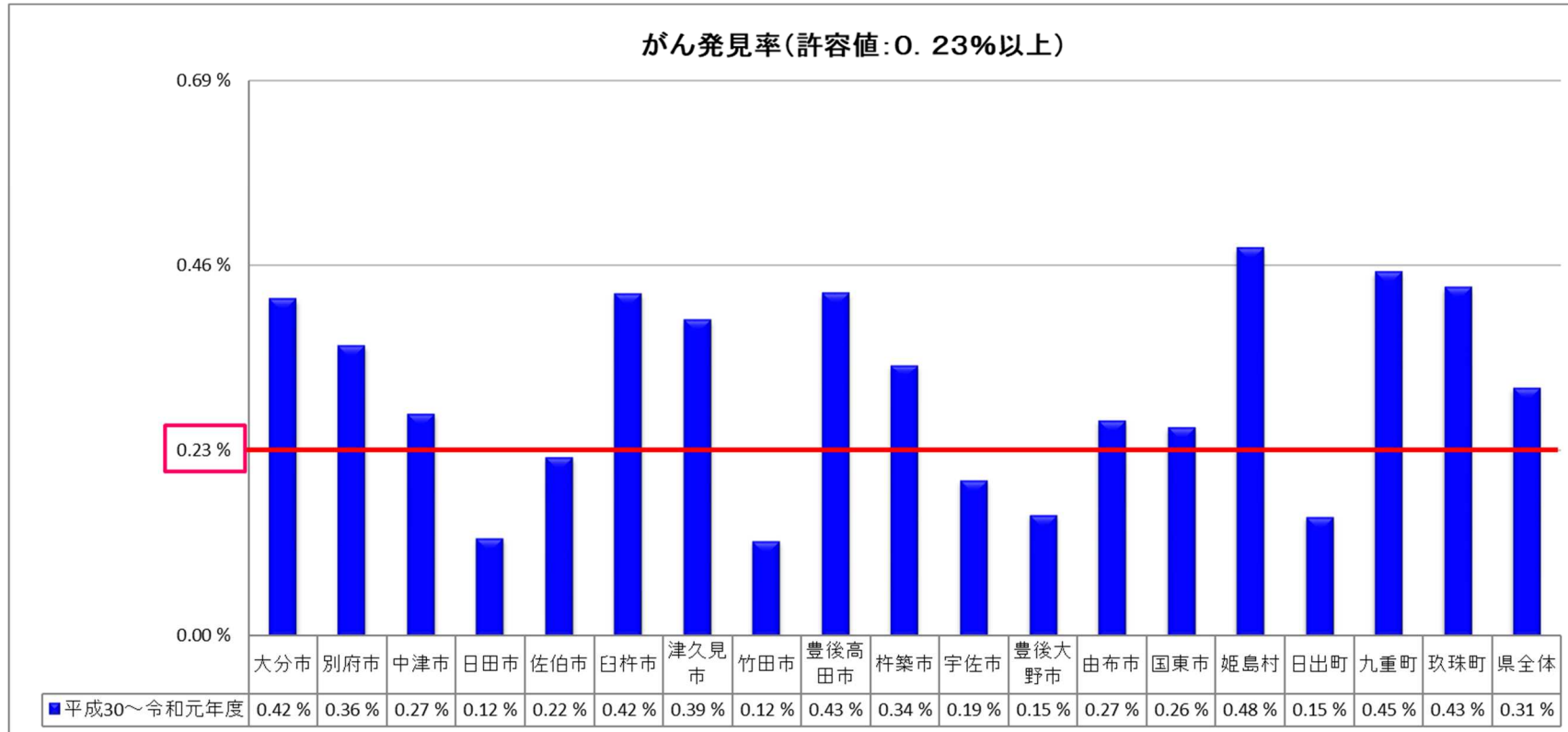
許容値である80%を16市町村で達成している。そのうち、15市町村で目標値である90%を達成している。
 県全体でも90%の目標値を達成している。



①-4 がん発見率/市町村別集計/住民検診

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいいため、平成30年度及び令和元年度の平均による数値で示している。

12市町村が許容値である0.23%以上となっている。県全体で0.31%と許容値以上となっている。



①-5 陽性反応適中度/市町村別集計/住民検診

受診者規模の小さい自治体では年度による変動が大きいため、平成30年度及び令和元年度の平均による数値で示している。

13市町村が許容値である2.5%以上となっている。県全体で3.9%と許容値以上となっている。

